

2019 年度事業計画(案)

施設・事業所名 大江学園

実施する福祉サービスなど

福祉サービス事業	利用定員 A	一日平均の 利用者数 B	年間の事業 実施予定日 C	実利用目標 (年間述人数) D	利用率目標 (D/A×C) E
施設入所支援	40 名	39 名	366 日	14,235 名	97.5%
生活介護	60 名	41 名	270 日	11,070 名	68%
短期入所	4 名	名	名	名	%
	名	名	日	名	%

職員体制(4 月 1 日)

職 種	員 数	区 分				常勤換 算後の 職員数	摘 要
		常 勤		非常勤			
		専従	兼任	専従	兼任		
管理者	1		1			0.1	
サービス管理責任者	1	1				1.0	
医師	(1)			(1)		0.1	嘱託
支援員	29	24	1	4		28.8	
看護師	4	2		2		3.0	
栄養士	1	1				1.0	
事務員等	3	2	1			2.5	
その他							
合 計	39 (40)	30	3	6 (7)		36.5	

重点推進目標(3 点)

○個別支援の充実を図る	
i 権利擁護の意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> * 権利擁護研修への積極的な参加。 * 伝達研修の実施。 * 一人ひとりの個性を理解しチームアプローチを行う。
ii 余暇・外出支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> * 高齢化、体力低下に伴い、事業内容（行事等）の再検証を行いご本人にあった参加方法を検討する。
○働きやすい職場環境づくり	
i 福祉の専門性を高める	<ul style="list-style-type: none"> * 新任・中途採用者の育成研修の充実。 * 内部研修の充実。 * 外部研修への積極的な派遣。
ii 職員間のチームワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> * 管理職と全職員のコミュニケーション面談の実施。 * 育成研修、メンター制度を活用した対話の場の設定。
iii 業務内容の再考	<ul style="list-style-type: none"> * 各ユニット定例会議にて業務内容の検証。 * 運営会議にて業務内容等の再考を行う。

- i ボイラーの整備 * 暖房ボイラーの入れ替え。
- ii 大規模修繕に向けた具体案の継続協議
 * 具体的な修繕計画案の作成。
 * 補助申請へ向けた取り組み。

○暖房ボイラーの入れ替え

【予定額】 5,000千円

○トラック入れ替え

【予定額】 1,000千円

☐ 日常生活支援

- ① 基本的な生活習慣の自立を目指すため、適切な支援を提供する。
- ② 日々の生活を安心して快適に過ごすことが出来る支援を提供する。
- ③ 介護状態に応じて適切な介護を提供する。

- *生活 リスクマネジメントを強化し安心・安全・快適な生活の提供。
- *食事 栄養と季節をふまえた変化に富んだ献立と利用者の身体状況に配慮したものを提供する。
嚥下機能が低下した利用者さんへの嚥下状態にあった形態で食事を提供する。
- *排泄 排泄状況を把握し、利用者さんの心身の状態に応じた支援を提供する。
- *入浴・睡眠・着脱衣・整容・移動 利用者の生活リズムを尊重し、清潔快適な生活を過ごすことが出来る支援を提供する。～ 入浴は、一般浴・特殊浴槽・一人浴槽
- *買物 個人の嗜好を尊重し、健康的で充実する生活がおくれるよう、買い物の支援を提供する。

- ①活動する喜びを享受できる適切な支援を提供する。
- ②他者と共に創り出す喜びを味わうことが出来る支援を提供する。
- ③自らの可能性を広げる喜びを分かち合うことが出来る支援を提供する。

- ・陶芸活動への参加 専属職員2名を配置
一般参加者と交流の陶芸活動
展覧会への作品出展（みんなアート・余市公募展・アールブリュット展）
きのこ王国・はまカフェでの陶芸作品の販売
- ・園芸作業 花菖蒲畑の管理
- ・介護予防を目的とした余暇活動（「高齢者体力づくり支援士」による健康維持活動の実施）
個別の軽運動 ～ 歩行、ストレッチ、足こぎ車椅子の使用
レクリエーション ～ 体操、ふまネット運動、カラオケ、フライングディスク、ボウリング
射的、輪投げ、フラダンス、魚釣りゲーム、シーツサッカー等
年2回のレクリエーション大会

クラブ活動 ～ パークゴルフクラブ、歩くスキークラブ
健康運動教室 ～ 健康体操の講師による運動教室（毎月2回実施）
音楽の広場 ～ 音楽療法士による曲に合わせた軽運動や歌（毎月1回開催）
リハビリ ～ 外部柔道整復師によるリハビリの実施
作業療法士・理学療法士による個人に合わせた軽運動の指導（日程は相談）

・趣味、娯楽

生け花教室 ～ ボランティアを講師に生け花を行い交流
娯楽の日（外出）～ 温泉、野球観戦、買い物、外食など好みに合わせて外出（各年2回実施）
外出を好まれない、または困難な方は、園内にて食事会を開催
スナック営業 ～ 年1回、地域交流ホームを活用して、職員・地域の方がスナックのスタッフに扮し利用者さんと地域住民の方々の交流を図る。

□ 居住環境整備

【目標】

- ① 快適な日常生活環境を整えるための個別的支援を提供する。
- ② 安全と自立が適切に確保される支援を提供する。

【主な取り組み】

- ・転倒防止の取り組み ～ 手すり、センサーマット、ナースコール、スタンドランプの設置
- ・怪我防止の取り組み ～ 床にジョイントマットを設置。家具等の角にサイドクッションを設置
- ・安全安心な介護を目的として ～ ギャッジベッド、ポータブルトイレの使用
- ・プライバシーの保護 ～ パーテーション、カーテンの使用
- ・事故防止の取り組み ～ 危険物の徹底した管理

□ 保健医療

【目標】

- ① 日常的な健康維持に配慮し、体力の維持・向上をはかる為の支援を提供する。

【主な取り組み】

- ・高齢化に伴い疾病が増加・重篤化している。各種定期検診を受診し、疾病の早期発見、早期予防に努めるとともに、定時の検温、血圧測定等日常的な健康管理を継続して実施する。

【具体的な提供内容】

- 健康管理 ①年4回の嘱託医による往診。
②毎日の検温、血圧測定及び白癬治療等 看護師、職員による日常的な健康管理の実施。
③成人病に関する各種定期検診の受診
④年1回の健康診断の実施

服薬管理・通院治療 常時の服薬介助及び個別疾患に応じた通院治療への支援を行う。

入院中のサービス 安心した入院生活をおくるために巡回し、適宜迅速な支援を行う

□ 社会生活支援

【目標】

- ① 地域の社会資源や社会参加の機会を知り、利用・参加の希望に副った情報を提供します。
- ② 日常の社会生活のなかで、個々人の希望が尊重されたものとなるような支援を提供する。
- ③ 自治活動による社会参加の機会を持ち、社会貢献の喜びや人権意識を高める支援を提供する。

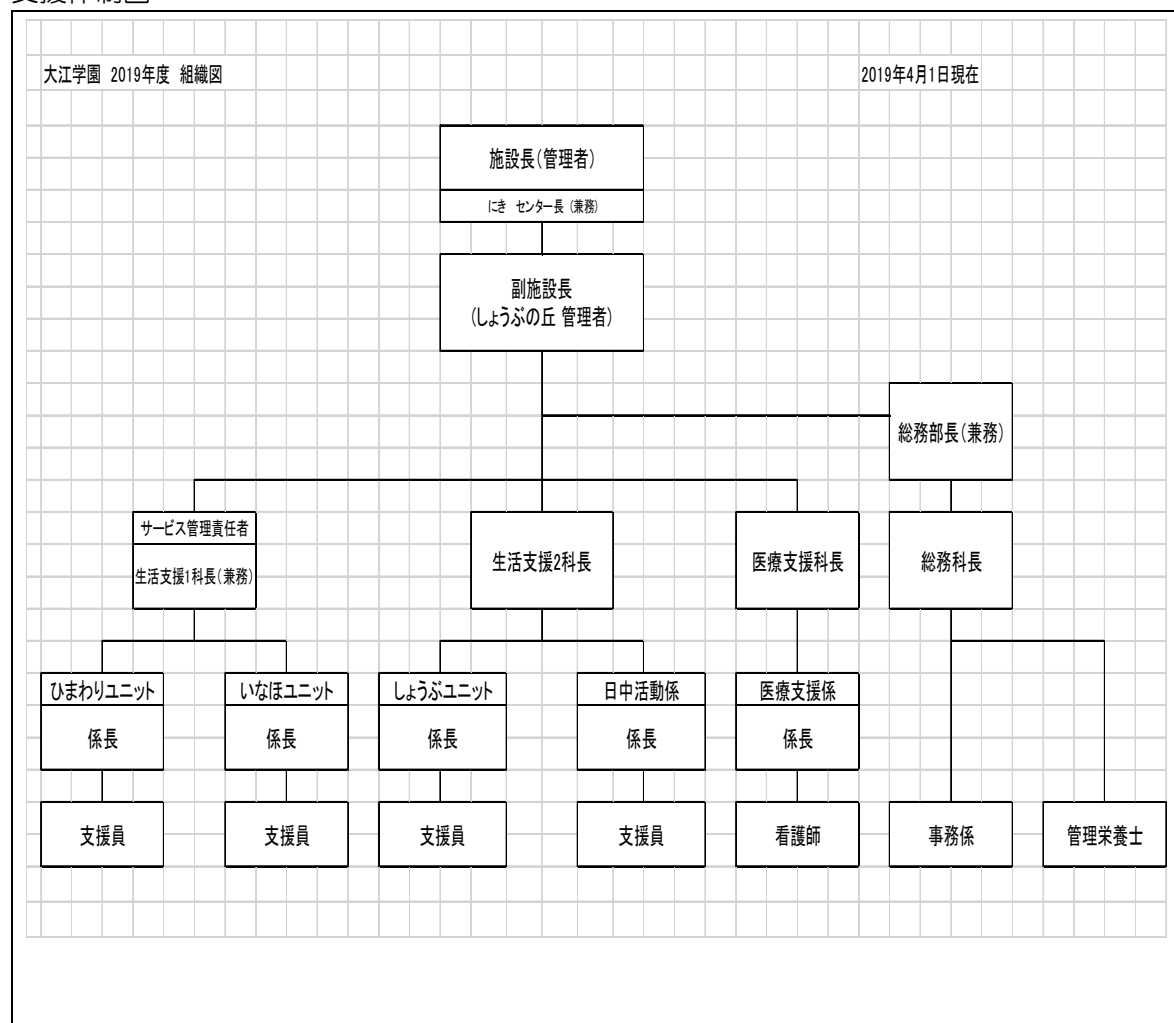
【主な取り組み】

- ・地域の方々との諸活動を通じた交流と利用者本人による活動に対して積極的な支援を実施する。また、地域生活を希望する利用者に対して、個別支援計画に基づき適切な支援を実施する。
- ・自ら考え、意見や質問を協議する機会を持ち、自らの生活環境に働きかけるための支援を提供する。
- ・土、日、祝日の余暇の時間を活用して、利用者さんの事業所間の交流を深め互いの生活環境を知り、生活の場の視野を広げる支援を提供する。

【具体的な支援】

- ① 老人クラブ「大江桃の会」「仁木喜楽会」への継続参加と本人希望により新規加入の拡大
- ② 自治会活動（「大江学園利用者の会」「銀山と大江と陽だまりの連合会」）の支援
- ③ 利用者本人研修会参加への支援
- ④ 地域生活を希望する利用者への体験可能な生活環境の提供と支援
～「しょうぶの丘」の活用～ 実感できる地域生活の提供～

支援体制図



主な行事実施計画

行事名	実施日	摘 要
大江連合大運動会	6/16	大江連合町内会、大江保育所、大江学園
花菖蒲まつり（学園祭）	7/7	
大江地域盆踊り大会	8/15	会場＝コミュニティセンター・大江学園 隔年
学園一泊旅行	6月～10月	一泊旅行（3コース）園内食事会1回（不参加者）
大江神社例大祭	9/7～8	大江コミュニティセンター
大江地区合同クリスマス会	12/14	会場＝大江学園交流ホーム
仁木町ゆっくり歩こうスキー大会	2020.2.23	
誕生会	毎月第4木曜	
百歳万歳（長寿を祝う会）	2月第4木曜	

会議・委員会等の開催計画

会議・委員会	実施日	摘 要
管理職会議	毎月第1木曜	施設長・副施設長・科長
運営会議	毎月第1木曜	施設長・副施設長・科長・係長
虐待防止委員会	毎月第1木曜	施設長・副施設長・科長・係長
リスクマネジメント委員会	毎月第1木曜	施設長・副施設長・科長・係長
生活支援科会議	毎月第3木曜	サービス管理責任者・科長・係長
サービス会議	毎月第3木曜	全職員
医療・食生活会議	毎月第4木曜	運営会議メンバー・管理栄養士・給食委託業者
ユニット会議	随時	ユニット職員（サビ管・科長・看護師・栄養士）
各行事担当者会議	随時	各担当職員
各委員会会議	随時	各担当職員

研修計画(施設・事業所内研修)

研修名	実施日	摘 要
新任職員研修	年10回	新規採用職員（中途採用者含む）
法人自閉症研修	年12回	上半期1名 下半期1名
法人研修委員による内部研修	毎月第3木曜	ケース会議時 職員ガイドブック使用
研修参加職員報告会	//	//

研修計画(外部研修)

研修名	実施日	摘 要
権利擁護セミナー	随時	道福祉協会、後志地方会主催
余市栄養士会研修	随時	管理栄養士
全道施設長セミナー	5/22	施設長
道知的障がい関係施設職員研修	年1回	生活支援員
全国知的障がい関係施設職員研修	年1回	生活支援員
感染症予防研修	随時	看護師・管理栄養士・生活支援員
強度行動障害支援者養成研修	随時	
サービス管理責任者養成研修	随時	
その他	随時	

権利擁護の推進方針

1. 権利擁護に関する研修会の実施
 - i 定例サービス会議の中で、権利擁護、人権意識を高める研修会を開催する。
 - ii 職員チェックリストの活用をはかり、自己を再認識する場を設ける。
 - iii 毎月1回虐待防止委員会を開催し権利擁護の意識を高める。
2. 虐待防止のための体制整備の強化
 - i 倫理綱領・行動規範について職員へ周知徹底をはかる。
 - ii 緊急やむを得ない場合の身体拘束について手続き、方法を職員に徹底する。
 - iii 苦情相談について利用者の会で分かりやすく利用者へ説明をする。
3. 職員1人ひとりの「気づき」力の育成。
 - i チェックリスト等の内容を評価し、支援職員の育成に繋げる。
 - ii 育成研修のプログラムに人権意識や権利擁護に関する学習の機会を設定する。
 - iii 具体的ケースの中で検討を重ね、チームアプローチとして職員間の共有を図る。
4. 利用者さん主体とし、聞き取りを行い、想いや主張を汲み取る。
 - i 利用者の会で、直接、嫌な思いをしたことは無いかな聞き取りを行う。
 - ii 第三者委員による聞き取りの場を設ける。

コミュニケーション面談実施計画

目的

管理職と職員とのコミュニケーションを図り職員の意見や要望を施設運営に反映させられるよう個別の面談を実施する。また、職員が一人で抱えないようにアドバイスしストレス対策も兼ね実施する。

・実施時期 4月 新任職員 5月～12月 一般職員 1月～3月 必要に応じて2回目の面談実施

職員健康診断実施計画

7月 全職員健康診断
2月 健康診断（腰痛検査）
年2回実施 予定

施設・事業所の構造

建 物	構 造	鉄筋コンクリート造 陸屋根地下1階付き 平屋建て
	延べ面積	2145.20平方メートル
敷地面積		13595.80平方メートル